

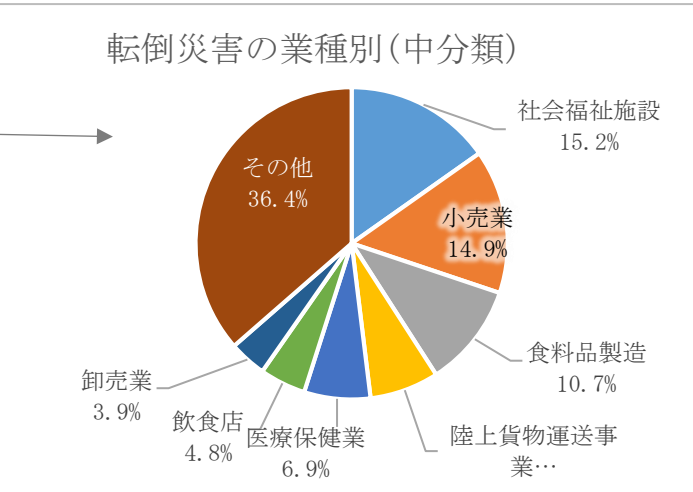
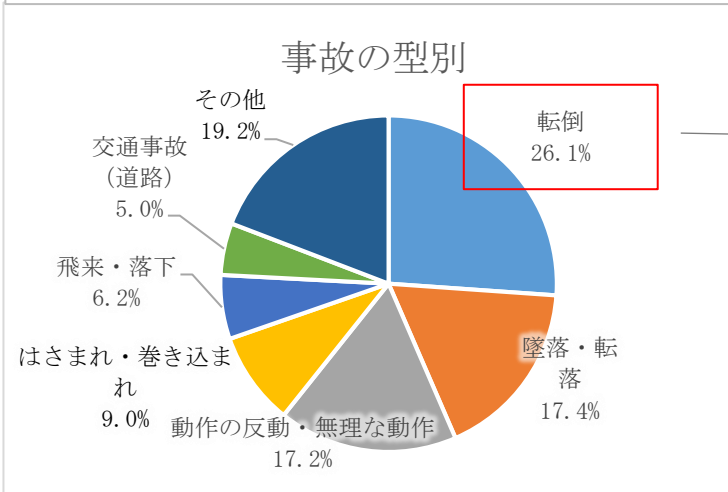
労働災害の令和5年の発生状況は、休業4日以上¹の死傷災害が1,283人（コロナを除く件数）、死亡災害は9人（前年同期4人）となっています。

【死亡災害事例】

- 3月 建設業 道路工事終了し片付け中、乗用車に激突された
- 3月 製造業 立旋盤の構造部材と点検用足場に挟まれた
- 5月 建設業 横転したドラグショベルと地面に挟まれた
- 6月 製造業 攪拌機内各藩羽根に引っかかった状態で発見された（有機溶剤中毒）
- 8月 建設業 単独で、トラクターショベルにてダンプに砂を積み込み中、ダンプとトラクターショベルに挟まれた状態で発見された
- 9月 建設業 刈払機を使用し、水路付近で除草を行っていたが、水路内でうつ伏せ状態で発見された
- 9月 製造業 事業場敷地内で、フォークリフトにはねられた
- 11月 商業 新聞配達中、道路と配達予定の民家の間で倒れた状態で発見された
- 12月 道路交通業 配送先で4トンダンプの荷台で作業中、あおりに接触し、墜落した

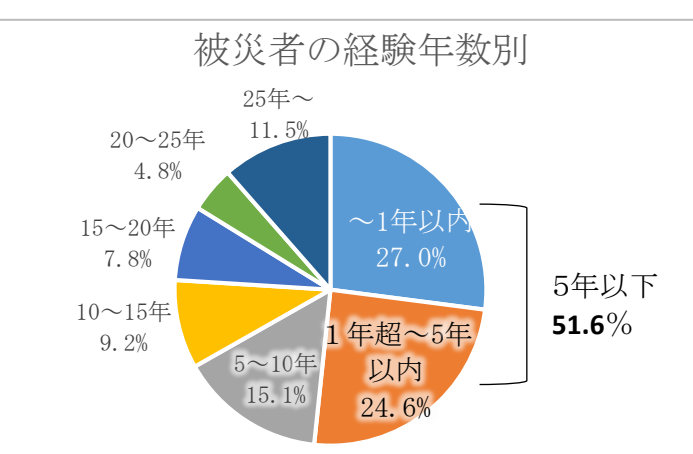
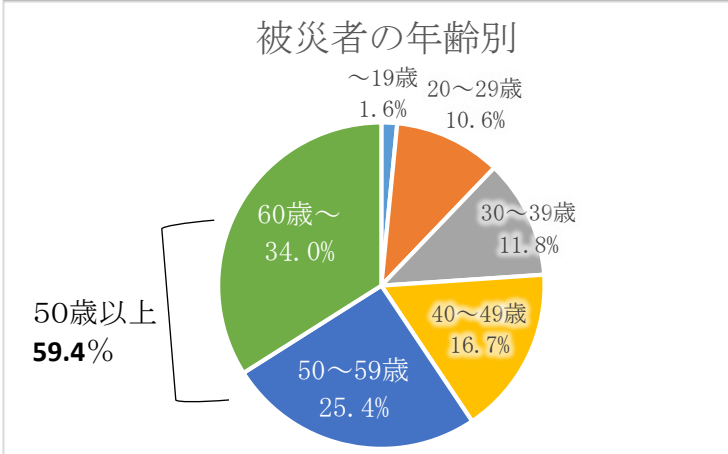
転倒害を業種(中分類)で見ると、社会福祉施設が51人と最も多く、次いで小売業が50人、食料品製造が36人の順となっている。

事故の型別で見ると転倒災害が335人で最も多く、次いで墜落・転落災害が223人、動作の反動・無理の動作(腰痛等)が221人の順となっている。(コロナを除く。以下同じ。)



年齢別では、60歳〜が436人と最も多く、次いで50歳代が326人であり、50歳以上が59.4%を占めている。

経験年数別では、〜1年が347人と最も多く、次いで1年超〜5年以下が316人となっており、5年以下が51.6%を占めている。



※労働者死傷病報告書より（コロナウィルス感染症によるものを除く）